



関係人口創出・拡大に向けた スキルアップセミナー in 茨城

かかわりラボでは、関係人口の創出・拡大に向けた取組を進めている、あるいは進めようとしている方々の課題を解決し、取組の推進に向けたスキルやノウハウを高めるためのスキルアップセミナーを開催します。

今回のセミナーは、茨城県をフィールドに開催します。現地フィールドワークや、関係人口を活かした地域づくりに携わる方々との直接の対話、メンターとのディスカッションなどによって、皆様が取組を進める上での課題解決策や事業戦略を磨き上げます。

2024年
2月1日(木)
～
2月2日(金)
(1泊2日)

お申し込み受付中！ 申込締切：2024年1月19日(木)

開催地	茨城県（水戸市・日立市・鹿嶋市）
対象者	かかわりラボの会員で、関係人口の創出・拡大に向けた取組を行っている／具体的に検討している中間支援団体、民間事業者、地方公共団体の方等 ※本セミナーは、かかわりラボ会員を対象としていますが、この機会にかかわりラボにご入会いただければ、本セミナーへの参加は可能です
定員	15名 ※応募多数の場合、締切前に受付を終了する場合があります ※複数人の参加を希望される場合には、代表者の方1名がお申し込み下さい
参加費	22,000円／1名（税込） ※参加費は、事前振込にて徴収いたします ※現地までの往復交通費、宿泊費などは自己負担となります

● お申し込み方法

下記のWEBサイトより詳細をご確認いただき、申込フォームもしくは申込用紙（Excel形式）に、必要事項を記入してお申し込み下さい

申込用紙でのお申し込みの場合は、kakawari@vmi.co.jp までご送付ください

株式会社価値総合研究所WEBサイト

「関係人口創出・拡大に向けたスキルアップセミナー in 茨城 参加者募集のご案内」

申込サイト <https://www.vmi.co.jp/jpn/event/001908/index.html>



● お申し込みから当日までの流れ

				▶▶ 参加決定の方 ▶▶		
11月22日(水)	12月5日(火) 14時～15時	2024年 1月19日(金)	1月22日(金)	随時	1月26日(金) 12時	2月1日(木) ～2月2日(金)
お申し込み 受付開始	応募説明会 (任意参加)	申込締切	参加決定の ご連絡	個別 ヒアリング	ブラッシュ アップ資料 提出期限 ※	スキルアップ セミナー in 茨城

※ セミナー当日に向けて、現状での取組に関連する資料（事業の内容や体制、現在の課題、相談内容等を記載）を事前に作成・提出していただきます

● お問い合わせ先

かかわりラボ事務局（株式会社価値総合研究所 事業開発部） 太田、木村
TEL: 03-5205-7902 E-mail: kakawari@vmi.co.jp

主催 内閣府地方創生推進室

事務局 株式会社価値総合研究所／NPO法人ETIC.（共同運営）

プログラム・講師の詳細は裏面へ▶

1日目 2月1日(木) 10:00開始

●オリエンテーション

現在、県内の自治体・中間支援機関および県外パートナー企業と連携しながら「つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト」を実施し、多様な関係人口の創出拡大の取り組みを推進している茨城県での取組等について、お話をいただきます。

[登壇者] 茨城県政策企画部計画推進課
移住推進G 主任 高田 みどり 氏



[つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト HP]→

●ランチ交流会

昼食を食べながら茨城県庁および参加者同士で理解を深めます。

●フィールドワーク※

Aコース(日立)、Bコース(鹿嶋)の2コースに分かれ、実際に協働している方々を訪問します。

●振り返り

各参加者の気づきなどを全員で共有します。

●アフタータイム

参加者やメンター等の皆様の親睦会を行います(18:30~)

※フィールドワークでは、以下の内容を予定しています

Aコース 日立(県北エリア)

■案内役

株式会社えぼっく 代表取締役社長 若松佑樹 氏

■内容(参加人数等により変更になる場合がございます)

✓iBARA KICK!(副業兼業人材)や企業協働型地域おこし協力隊を受け入れた企業経営者へのヒアリング
株式会社八千代商事 取締役副社長 福地 美喜 氏
日立市で木材・住宅用建材の卸売業を営む。外部人材を活用して茨城の木材の地産地消を促進し、木材産業の活性化を目指す。

✓上記に副業人材として参加した方へのインタビュー

✓KENPOKU PROJECT E(起業型地域おこし協力隊)の隊員とのトークセッション

後藤 大樹 氏(常陸大宮市)

常陸大宮出身。都内のテック企業勤務を経て、起業型地域おこし協力隊に着任。「負資産」の利活用で上京者と地元を近づける事業を推進中。

✓過疎地域インターンシップ促進事業の概要報告

星野 由季菜 氏(まちむすび合同会社 代表/元常陸大宮市地域おこし協力隊)

都内IT企業勤務を経て地元常陸大宮市にUターン、協力隊員期間中に「人をむすび、まちをむすび、希望をむすぶ」を経営理念に代表に就任。

✓県北エリアで活動する複数の地域コーディネーターおよび、企業経営者・参加人材との懇親会

※県北エリア: 大子町、常陸大宮市、常陸太田市、北茨城市、高萩市、日立市

2日目 2月2日(金) 9:00開始

●ブラッシュアップ会

各参加者の取組のアイデアや事業戦略などを共有し合い、メンターとの対話を通じて事業としてのブラッシュアップを図ります。

※メンターの詳細については3枚目をご覧ください

※ブラッシュアップ会にむけて、現状での取組に関連する資料(事業の内容や体制、現在の課題、相談内容等を記載)を事前に作成・提出して頂きます

<ブラッシュアップについて>

▶参加者とメンターで計50分(プレゼン15分、議論30分、入替等5分)、ブラッシュアップ(関係人口事業の磨き上げ)及び事業戦略づくりを行います。ブラッシュアップでは、参加者が関係人口事業の取組状況および問題意識等を説明し、その後メンターとのディスカッションを行うことを想定しています。(参加者数によって時間は前後します。)

▶ご自身がブラッシュアップに参加していない時間帯は、他のブラッシュアップの様子を傍聴することが可能です。

●事業戦略作り アクション宣言

各参加者の取組の戦略作りを行い、今後のアクションプランをお互いに発表します。 ※適宜メンターがサポートします

2日目の終了時刻は、15時を予定しています。

オプションツアー(任意参加)

参加者の希望に応じて、前日入りしている方および2日目夕方水戸駅付近で懇親会を実施します。

Bコース 鹿嶋(鹿行エリア)

■案内役

NPO法人鹿行地域おこしLab. 理事 小林 正英 氏

■内容(参加人数等により変更になる場合がございます)

✓iBARA KICK!(副業兼業人材)や企業協働型地域おこし協力隊を受け入れた企業経営者へのヒアリング
有限会社谷川クリーニング 代表取締役 谷川 祐一 氏
神栖市を中心に14店舗を営む。2年連続で副業人材を活用して組織づくり、地域の場づくりに挑戦中。2021年ホワイト企業大賞にて「大賞」を受賞。

✓上記に副業人材として参加した方へのインタビュー

✓中間支援機関であるNPO法人鹿行地域おこしLab.の活動紹介、メンバー紹介、意見交換

NPO法人 鹿行地域おこしLab. 理事 小林 正英 氏・田沼 絢子 氏・高橋 将行 氏・大澤 智恵 氏

鹿行エリアの現役の地域おこし協力隊が設立。1自治体ではなく地域をまたいで協働事業を推進。エリアと外部人材を繋ぐ中間支援機能役も担う。

✓過疎地域インターンシップ促進事業の概要報告

✓鹿行エリアで活動する複数の地域コーディネーターおよび企業経営者・参加人材との懇親会

松崎 侑奈 氏(合同会社えにしにしか 代表/元鹿嶋市地域おこし協力隊)

2018年、協力隊に着任。気軽に地域の人が集まれる場所を作るため2021年10月に同社を立ち上げ、コワーキング・コミュニティスペースみちくさを運営。鹿嶋の企業と外部人材を繋ぐコーディネーター役も担う。

※鹿行エリア: 鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市。旧鹿嶋郡の「鹿」と旧行方郡の「行」とって鹿行(ろっこう)と呼ばれています。



高田 みどり 氏

茨城県 政策企画部 計画推進課移住推進G 主任

茨城県牛久市生まれ。大学卒業後、2013年に茨城県庁に入庁。教育庁総務課、生活文化課、県税事務所を経て、現職。現在は、関係人口事業や地域おこし協力隊などを担当。

【つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト】

茨城県への新たな人の流れをつくるため、県・市町村が一体となった受入体制の構築、東京圏の若手人材と地域企業との協働プロジェクト、中間支援機能の育成強化などにより、関係人口の創出・深化を図る。



石井 重成 氏

青森大学 准教授／前・釜石市オープンシティ推進室長

経営コンサルティング会社を経て、東日本大震災を機に岩手県釜石市へ移住。地方創生の戦略立案や官民共創事業を統括し、人口減少時代の持続可能なまちづくりを構想。2021年4月より青森大学准教授。各地の地域活性事業や人材・組織開発を支援。総務省地域力創造アドバイザー、環境省地域循環共生圏プラットフォーム事業アドバイザー等。



土屋 望生 氏

株式会社日添 取締役、五木村複業協同組合、NPO法人いつきつなぎ

NPO法人ETIC.ローカルイノベーション事業部を経て、2018年に熊本県五木村にUターンし、株式会社日添を起業。人口1,000人の村で、地域活性化事業、人材育成事業、デザイン事業、飲食事業などに取り組む。2020年4月には5地域と連携して「旅するおうち時間」をリリース。課題解決ではなく「地域のしあわせづくり」を目指す。



若松 佑樹 氏

株式会社えぼっく 代表取締役社長(茨城県県北エリア・中間支援機関)

茨城県日立市生まれ。ネット広告会社や、食と農のシンクタンク会社を経て、2014年に茨城県にUターンし、「えぼっく」として活動開始。中小企業の経営革新と若者の人材育成を目的とし、インターンシップコーディネーター、中小企業のプロジェクトマネジメントなどを行う。2018年1月に株式会社えぼっくを創業し、代表取締役に就任。



小林 正英 氏

NPO法人鹿行地域おこしLab. 理事(茨城県鹿行エリア・中間支援機関)

自治体職員を経て、茨城県潮来市地域おこし協力隊に着任。水郷潮来の水資源を活かしたまちづくりに取り組み、一般社団法人いたこみズベデザインを設立。

また鹿行地域の交流人口や関係人口の増加や、移住促進等に取り組むためNPO法人鹿行地域おこしLab.を設立。潮来市を中心に水辺のイベントの企画や、SUPツアーの実施、地域おこし協力隊の募集・採用の企画に携わる。



伊藤 淳司 氏

NPO法人ETIC. ローカルイノベーション事業部 事業部長

1997年からETIC.に参画し、日本初の長期実践型インターンシップ「アントレプレナー・インターンシップ・プログラム(EIP)」の事業立ち上げに携わる。コーディネーターとして、これまで700社以上の実践型インターンシップを活用した人材育成、少数精鋭組織のコンサルティングに関わり、現在も全国の多様な地域・セクターのコーディネーター育成を担当。